

その他の建築工事業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	当社資材置場にて4トンダンプの荷台を整理整頓及び清掃をしている際、足を踏みはずしバランスをくずしてしまい、荷台から落ちそうになったので飛び降りたところ、着地した際に足をひねり負傷した。	35	—
1	13~14	現場巡視時の既存建物移動中、床リノリウムの上で左足が滑り、右足はたまたま仕切り壁を撤去した跡の地下材が残った溝の上にあって、滑らず固定された状態になり、右足首にひねりが生じて右足のくるぶし部を受傷した。	43	—
1	5~6	大学内、体育施設棟ピット内状況調査対応工事にて、被災者が夜間工事を終了し、着替えを終え帰る際に資材仮置場へ荷物を持って行こうとした時に建物前の段差につまずき転倒し、左足を打撲してしまった。	64	1~9
3	11~12	内装改修工事の作業中、天井ベニヤ張りを終え脚立から降りたときに右足首をひねり、骨折を負った。	75	1~9
4	11~12	当社作業場内において、自社分転用枠（工事現場を特定しない共通仕様のもの）を加工しようと栈木を運搬していたところ、足元がすべり転倒し、側にあった鉄筋等を入れておく鉄枠に脇腹を打ち負傷した。	62	1~9
4	14~15	重機への移動中、鉄板の段差で躓きバランスを崩し、左足で踏ん張った際に左足付け根を捻り受傷した。原因は、作業通路でなく車路を歩いていたためである。鉄板の段差は40mmであり、注意不足によるものと考えられる。	66	30~49
4	16~17	解体中の地盤に解体材があり、解体材を集積していたとき、管材を左肩に持って集積歩行している際にタイル等の上で滑って転倒し、右手を地盤について負傷した。	50	1~

				9
6	9~ 10	当社作業所にて屋根材を加工中、奥の道具置き場に道具を取りに行こうとして歩行中、緩やかな傾斜があるのは分かっていたが、足元を十分に確認せずに歩いて行った。その際にバランスを崩して転倒してしまい、左足を捻ってしまった。	35	1 ~ 9
7	9~10	設備撤収作業の際に側溝の蓋の段差につまずき転倒し、左足膝を強打してしまい半月板を損傷してしまった。	75	1 ~ 9
7	9~ 10	会社事務所ドア入口前のタイルの上を松葉杖を使って歩行中、滑って転倒してしまい、左足大腿部を骨折した。	47	1 ~ 9
7	11~ 12	工場にて片付けをしているとき、出入口の段差に躓いて、右足首を捻ってしまい、腫が着けない程の痛みが生じた。	38	1 ~ 9
10	15~ 16	公園改修工事現場にて、左手に防水材料を持ち、建物東面の昇降足場6階付近を移動中、転倒しそうになり、右手で足場を掴んだところ負傷。	34	1 ~ 9
10	16~ 17	会社資材置き場において資材整理をするため敷地内を歩いて移動していた時、地面に敷いてあった敷鉄版（500×150×2.5cm）の段差に躓きバランスを崩し、右足首を捻り負傷したもの。	54	1 ~ 9
10	10~ 11	センターの屋上で鉄骨荷台を搬出している際に荷台を持ったまま置いてあった荷台につまずき転倒し左顔面と左腕を骨折した。	72	1 ~ 9
10	16~ 17	雨漏工事に伴い、天井部分を見上げたまま歩行中、廊下から土間に転落。	38	1 ~ 9
11	11~	事業場の倉庫で道具の整理作業中、ハンドミキサーを運んでいる時、地面の段差に気付かず爪先が段差に引っ掛かった拍子に転倒した。その際、地面に右手をついた	69	1 ~

	12	衝撃で手首を骨折してしまった。受傷当日は痛みが大きくなかったため作業を続けたが、翌日腫れて痛みが増したため自宅隣の病院で診察を受けた。		9
11	7~8	会社敷地内の物置小屋から荷物（30cm×25cm×15cm）を搬出中に、地面にあった角材（90cm×10cm×10cm）を踏み転倒し、左中足を骨折した。	59	10 ~ 29
11	9~ 10	倉庫より、資材を搬出している時、倉庫と地面の段差（25cm）を踏み外し、右足かかとを負傷した。	43	1 ~ 9
12	12~13	午前中の仕事を終え、同僚と昼食をとり休憩しようと駐車場に停めてある車へ戻ろうとして道路を横断している時、道路の中央付近で後ろからの強風にあおられ身構えたが間に合わず、後ろへ転倒し後頭部を打撲した。その時の路面は凍結して滑りやすい状況であった。	45	1 ~ 9
12	11~12	営業業務の移動中、公園を歩いていたところ、ぬかるみに足をとられ、挫いた際に右足首を骨折した。	21	1 ~ 9
12	11~12	建築工事現場の木造小屋にて、物を持ち運ぶ際に何かに躓き、木の柱に脳天をぶつけ、ふらつきと痛みで一時的にうずくまっていたが、そのまま仕事を続けた。翌日も痛みで首が右に回らず、痛みは段々と増していき、首から右腕にかけて激痛が生じた。	55	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)